

令和5年度

児童発達支援自己評価表【職員向け】

事業所名：児童支援センター 燦保
 公表：令和5年6月5日
 実施スタッフ：10名 回収率：100%

この児童発達支援自己評価表は児童支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも えない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの切り替えが難しい子もいる為、運動と静かに過ごす場面とで環境を変えることも必要だと思います。 ・利用児が10を超える時や状況に応じて別棟を使用し、適切なスペースで行えていると思います。 ・定員を超えている場合は部屋を分けて支援しています。 ・利用児が多い日には部屋を分け、安全に適切な環境の中で活動できるようにしています。 ・利用児が多い場合、年齢や活動内容によって2か所の部屋に分かれて支援する必要があると思います。 ・10人以上では部屋を分けています。 ・利用人数に合わせて部屋を分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・その日の利用児の特性に応じて適切な配置ができるよう考えられていると思います。 ・定数よりも多めに配置しているため、より丁寧に支援にあたる事ができています。 ・適切と思いますが、児の特性によっては、もっと人数(職員)が必要な時もあると思います。 ・一人一人に細やかな支援ができるよう規定以上のスタッフが配置されています。 ・前日より職員の担当を決め、利用児が安全に過ごせるよう配置しています。 ・配置基準を満たすとともに個別対応が必要な子に関しては職員の人員を増やしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・運動する部屋、静かに過ごす部屋と分けて使用することも必要だと思います。 ・必要に応じて、手すりや踏み台、すのこを置き、配慮しています。パーティション等も使用しながらより集中して取り組めるような環境設備を意識しています。 ・既存の建物の為、ドア(開き戸)等が気になりますが、十分注意して子ども達に接しています。 ・机上課題をするときは、集中できる環境を整えています。スロープ、段差、スタッフがサポートするなど人的・環境的に配慮しています。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃなど興味・注意を引かれる物にはパーティションにて対応しています。 ・清潔は常に心掛け、安全で心地よく過ごせるよう配慮しています。 ・必ず喚起を行っています。利用児が帰った後には掃除、消毒を徹底しています。 ・家庭的な雰囲気作り。床面にクッション性のマットを使用しています。 ・さんぽの部屋のプレイマットの交換が必要だと思います。 ・ジョイントマットを使用しているので定期的な掃除の見直しを行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合う内容や記録に関してもPDCAサイクルを意識して進めていく必要があると思っています。 ・目標設定の把握を行い、療育終了後のミーティングにて振り返りに当日の職員が参加できている思います。 ・職員間で、毎日ミーティングの時間を設けて情報共有しています。 ・活動終了後にミーティングを行い、その日の振り返りと今後の支援について話し合っています。 ・個別支援計画を定期的に確認し、支援の前後でスタッフミーティングを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・内容を確認したうえで、どのように改善していくか検討していく必要があります。 ・会社のホームページにて公表し、頂いた意見を参考にしています。 ・アンケートの結果を確認し、改善できる部分は改善していく必要があります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価、保護者向け評価共にホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師にて研修などを行うことで業務へのアドバイスを頂きながら改善に繋がっています。 ・外部講師からアドバイスを受け、支援に取り入れています。 ・月2回程度、PTIによる評価、活動終了後、セラピストを含め、ミーティングを行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・職員がどのようなことを学びたいのかアンケートをとっていくことも必要だと思います。 ・月に1回、定期的に研修を行っています。 ・月1回程度、職員研修を実施しています。外部講師を招いての講習も開催しています。 ・月に1回行っています。内容も職員で検討し、質の高い療育を目指すために行っています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの深掘りと子ども達の特性に合わせた環境設定・プログラム立案の継続は必要だと思います。 ・面談や会議を行い、相談員さんの計画を基に作成しています。 ・定期的な面談でニーズを把握しています。

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールは家族からの聞き取りが多く、面会の機会を多くとっていく必要があります。 ・KIDSの発達検査を実施し、結果を基に支援にあたっています。 ・KIDS発達検査を基に行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じた支援方法を基に計画の作成にあたっています。 ・一人一人に応じた「家族支援」「地域支援」を立案しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を定期的に見返したり、月1回の個別支援会議にて見直す機会が設けています。 ・会議やミーティングの中で支援計画を確認し、意識しながら日々の支援を行っています。 ・支援会議を行ったり、支援計画をまとめたものをすぐに見れるようにしています。 ・毎日、確認できるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定は複数人で決めているが、当日の活動はリーダーが当番で考えています。内容について話し合う場面が必要かと思えます。 ・月末に話し合い、活動内容を決定しています。 ・ミーティング等を行い、子ども達に必要な内容を決めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人の意見を聞いたり、同じ内容でも一工夫加えたりしながら個々に合った内容を考えています。 ・その日の利用児に適切な活動プログラムは何か考え、工夫しながら行っています。 ・やや固定化していると思えます。 ・インターネット、子供向け番組を活用し、工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・目標や活動を簡易的に確認できるツールは必要かと思えます。 ・個別対応、集団行動とここに応じて必要な支援を判断し、行っています。 ・個別支援が必要な子どもには支援時、1日の中で工夫しながら時間を作り支援しています。 ・月1回、個別支援会議を開催しています。個々の計画に添って評価、見直し等、話し合っています。 ・その子にとってどちらが必要であるか職員で検討しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせはできているが、時間に限りがあり、細かな支援内容まで確認できていません。 ・その日のリーダーより確認、申し送りがあり、役割は書面で提示して行っています。 ・連絡事項や役割分担等を口頭や文章にて伝え、情報共有を図っています。 ・業務担当表を使用していく必要があります。 ・役割分担表で確認できるようにしています。不十分な点は活動前に打ち合わせしています。 ・職員がすぐわかるよう日報を貼り出し共有しています。

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎場所によっては帰りが遅くなり、振り返りに参加できないことがある為、ノートを活用しています。 ・毎日、ミーティングの時間を設けて振り返りの時間を作り、情報共有しています。内容は記録し、情報共有を図っています。 ・ミーティングにて振り返りや支援方法の検討を行っています。 ・毎日、行っています。休みの職員へも伝わるよう連絡ノートに記入したり、言葉でもできるだけ伝えるようにしています。 ・支援終了後、15～30分程度、ミーティングを行い、職員間で共有しています。 ・ミーティングができるようになり、担当以外の子の細かい様子がわかるようになりました。 ・ミーティング内容を文書にして残し、支援に繋げています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の目標や課題に焦点をあてた記録(変化点)となっているか再確認は必要です。 ・日々、記録を取り、ミーティング等で話した内容も含め、翌日の支援に活かしています。 ・ミーティングにより、改善に向けた方向性が統一できると思います。 定期的に見直しを行っていく必要があると思います。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、様子を伝えながら計画の見直し、情報提供を行っています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・主に正規職員の方々で行って頂いて必要な情報は相談や報告等で全員に周知されていると思います。 ・児発官や現場のスタッフが同行し、情報共有を行っています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果によっては話し合いの場を多くつくっていく必要があると思います。 ・必要に応じて連絡を取り合い、連携する事ができていると思います。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・今後、頻度は多くしていく必要があります。 ・医療機関からは指示書を記入して頂いたり、即座に連絡を取り合えるような環境を整えています。必要に応じて園との会議等も行っています。 ・医療的ケア児の病院受診の日程や診察内容、検査結果について、保護者より聴取し、関係機関(リハビリ、訪問看護)、他事業所間で情報を共有しています。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応用の書式を作り、いつでもすぐに連絡を取り合えるようにしています。 ・医療的ケア児緊急マニュアルを作成し、誰もが目につく場所に設置しています。医療機関(主治医)、保護者との連絡体制を整えています。 ・緊急時に直通で主治医に電話できるようなシステムがあると良いと思います。

関係機関や保護者との連携

25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は行えています。一方的なものにならないよう、話し合いの場で相互理解を図っていく必要があります。 ・現在は休止していますが、保育所等訪問支援を通し、園との情報共有を図っています。 ・送迎時に利用の様子を伝えています。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は行えています。一方的なものにならないよう、話し合いの場で相互理解を図っていく必要があります。利用児の対応については受け入れ先の状況を考慮しながら担当者会議等で指導・アドバイスしていく必要があります。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所が企画した研修会には参加しています。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍という事もあり、園との交流は出来ていないが、地域の行事や外出時の公園等で他児と関わる機会があります。 ・地域の方との交流はあると思うが、子どもとの活動はないように感じます。散歩など外出で会う機会はあるかもしれません。 ・外出等で同年代の子との交流の場を作っています。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のためできていません。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎場所によって保護者と話す機会が少ないです。話し合いの場で理解を深めていく必要があります。 ・送迎時や電話や連絡帳等を通して様子を伝え、情報共有を図っています。 ・連絡帳や送迎の時に状況を伝え相談するなどして保護者と同じ思いで支援できるように配慮しています。 ・毎日の送迎時、口頭での連絡しています。連絡帳にて活動内容や様子を伝えています。保護者からも家庭での様子や連絡事項等を記入してもらい、児の状態を把握しています。 ・保護者と会った際には様子を伝え合い、家庭での様子等も総合して視点を考えていく必要があります。 ・送迎時や定期的な面談を通して情報共有を行っています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に聞き取りしながら対応していく必要があります。 ・会議や面談の中で必要に応じて助言を行っています。 ・日々の連絡帳でのアドバイスやモニタリングの際の助言、定期的に親子様が集まり、障害についての理解を深める機会があれば良いと思います。 ・さんぽで行った支援でうまくいった内容など必要な助言・アドバイスを行っています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行っています。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・面談等の中で、一つずつ計画を確認し、具体的な支援内容を伝えて丁寧な説明を心がけています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった場合、連絡帳に記入したり直接話す機会を設けています。 ・面談や送迎時、または連絡帳を介して日々のアドバイス、助言を行っています。 ・来所頂き、悩み等に対し助言を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を交えたイベントを開催し、敵的に保護者同士の連携を支援していく必要があります。 ・コロナ禍により開催できていないが、前年度の卒所式では保護者を招待し、顔を合わせる機会を設けています。 ・コロナが収束してきた為、行えると良いと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に対して連絡帳に記入したり、電話にて対応しています。 ・要望があった際には迅速な対応をし、相談内容に関しては、スタッフ間で情報共有しながら丁寧な対応を心がけています。 ・連絡帳やLINEを活用しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容を希望されるのかアンケートを活用していく必要があります。 ・毎月、お便りを配布し、写真も同意の上で掲載し、より様子が伝わるように工夫しています。 ・お便り、フェイスブック、ホームページで情報発信を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の表紙には、情報漏洩がないように注意書きを掲載し、徹底しています。 ・契約の際に保護者に確認しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・表現を変えることで物事をストレートに伝えないように配慮しています。 ・伝え方を工夫し、子どもに対しては必要に応じて絵カードやイラスト等を用いて意思疎通を図っています。 ・文書や口頭で理解を得ています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	9		1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアを招待しています。 ・地域の行事に参加したり、ボランティアさんに来書して頂き、交流の機会を設けています。 ・地域の行事に多く参加させて頂いたり、事業所の行事にも参加して頂いています。 ・ハロウィンなど地域を歩き、事務所を知ってもらうきっかけづくりを行っています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修予定にあげられています。 ・マニュアルを作成しています。避難訓練では実際に研修で消防士の方に訓練の様子を見て頂き、指導してもらっています。今後、保護者にも周知していく必要があります。 ・感染症対応マニュアルがない為、人により対応が異なり、混乱しました。防犯マニュアルよりも防犯対策が全くなし。鍵の施錠や門など。 ・マニュアルだけでなく、日頃からできる対策を行っています。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・研修以外でもマニュアル確認を行っていく必要があります。 ・避難訓練を定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアセスメントを行い、情報共有をしています。 ・事前にフェイスシートにて確認。医療的ケア児緊急マニュアルにも記入しています。 ・予防接種についての確認も必要ではないかと思えます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で、情報共有し、必ずダブルチェックをするようにしています。 ・食物アレルギーのある児については、原因食物を顔写真の下に赤で記入しています。食事提供時、間違いのないようしっかり確認しています。 ・「だろう」ではなく、成分などを調査するとともに、ダブルチェックや席に工夫も必要だと思えます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼などでゼロレベル報告を行っていく必要があります。 ・ヒヤリハットの作成。その後、情報共有を行っています。 ・小さなヒヤリハットでも書面に残し、情報共有を
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10		<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、研修を行い、共通認識を図っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に身体拘束は行っていません。 ・身体拘束を行うような支援はしていません。万が一、そのような状況になった際には同意の基で行います。 ・身体拘束を行わなければならない重度障害の利用児がいない為、わかりません。